横浜キネマ倶楽部 上映会 1981年/日本/モノクロ/105分/DVD 上映 小耍鹰平第一回監督作 あのとき少年時代は終わった。 いま、痛みの源流へ遡りたい。

マ旬報ベスト・テン第1位

トマ旬報ペスト・テン日本

可報ベスト・テン助演 画ペンクラブ第11位

-リボン賞最優秀作

マカデミー賞優秀作

日本アカデミー賞最優秀

10(2)143

[講演] 13:00≈ [講師]加

「チケットぴあ」から 場券が購入できま 購入は5月4日(木)迄となります

「セブンーイレブン」でチケット購入可能

©小栗康平事務所

加賀まりこ 桜井稔 朝原靖貴 田村高廣 藤田弓子 柴田真生子 西山嘉孝 初音礼子 芳賀洋子 八木昌子 監督:小栗康平 製作:木村元保 脚本:重森孝子 音楽:毛利蔵人 照明:島田忠昭 原作:宮本輝『泥の河』 美術:内藤昭 撮影:安藤庄平

2045-341-1261(席数400席)

市 援:横 浜 数 季 市営地下鉄「阪東橋」劇 徒歩約8分 京浜急行「黄金町」駅 徒歩約14分

[入場料]前売:1,000円 当日:1,300円 障がい者:1,000円 介助者1名無料 **P**080-2554-8023(10 時~18 時) 【プレイガイド】有隣堂伊勢佐木町本店2045-261-1231/高橋書店(元町)2

いづみ書房曾045-241-1104/シネマ・ジャック&ペティ(黄金町)曾045 横浜シネマリン(長者町)舎045-341-3180/岩間市民プラザ(天王町)舎045-337-0011 【チケットびあ】(Pコード:552-731)「セブン-イレブン」でチケットの発券ができます。



横浜キネマ倶楽部

第73回上映会 1981年/日本/モノクロ/105分/DVD 上映

泥の河





とでの合宿を経て、一つの芝居ごとに、それを自分の体験へと なのは、舞台大阪での一般公募者、三百人の中から選ばれた主 くりものでない大阪の味を出している。が、なによりも圧倒的 西山嘉孝をはじめ在阪ベテラン陣が まったくの未経験者が監督のも

術・内藤 昭

楽・毛利蔵人

集·小川信夫

本間

飾·安田彰·

録・八巻慶子

れたその女房を演じるのは藤田弓子。

■スタッフ■ 美

音

音

製 作·木村元保 原 作・宮本 輝

脚 本・重森孝子 監 督・小栗康平

影•安藤庄平 撮

照 明·島田忠昭 音•西崎英雄

録 音・平井宏侑

高廣

弓子

靖貴

嘉孝

礼子

稔

田村

藤田

朝原

桜井

初音

加賀まりこ

柴田真生子

助監督 · 高司 製作補・藤倉

■キャスト■ 八木 芳賀 麻生 松田 鈴木

淳 中野耿一郎 下西三保子 森山 紹秀

昌子 南 たかし 洋子 小島 葉隠 柳 明 西川 直樹 慶一 村東 敬三 蟹江 殿山 泰司 芦屋雁之助

第十三回太宰治賞受賞作品である。今回が監督第一回である小原作は「蛍川」で芥川賞作家となった宮本輝の処女作であり、 安治用河口。物語は、 経済成長へと向う、 間の交流と別れである。 対岸にある日つながれた廓舟(くるわぶね) 舞台は戦 モノクローム、 混乱期を経て朝鮮動乱の いわばとば口にあった昭和三十 河っぷちの食堂の九歳になる少年と、 ある世代の原質を探りあてようとし スタン 逆上せずにとらえることの困難 、ダード画面という古典的な手 新特需を足場に高度 の姉弟とのつか 回である小

大阪

という。

ことを父、

>淵にとどまって暮らすことの人間への愛着と、流されゆく絶ためらい、そこにつらなる自分の出生と成長──映画は、河袋とその戦後ゆえに人生が決めた大人たちの移ろいゆく傷 少年のまなざしによって純化していく。

の病変の知らせである。

男が食堂を訪ねた。終戦直後、

が歌をうたった。「戦友」であった。

夕飯にその姉弟も招いて父親が暖かくもてなした時、

窓から見える船の家が信雄を魅惑し不安にする。

晋平に話すと、夜はあの船に行ってはいけない

見えない母がいた。

友達になった

い病変の知らせである。不可解な人生の断面が信雄に成長刃が食堂を訪ねた。終戦直後、晋平が別れたかつての女房子供たちの交流が深まり始めたある日、見知らぬ一人の

撮影所の最良のスタッフが結集した。音楽は現代音楽の新鋭、 (康平がフリー助監督として浦山桐郎等に師事して学んだ、各 フリーとして小林正樹、大島渚、 撮影は「私が棄てた女」(監督 編集は東宝の小川信夫。 篠田正浩の作品を 内藤昭、 浦山桐郎) 技術陣は、 録音は松 の安藤

を鎮魂するように、 5鎮魂するように、食堂のオヤジを地味に演じている。歳の離出演陣では田村高廣が死んだ親父 (阪東妻三郎) とその時代

とためら 毛利蔵人が映画音楽を初めて手がけている。 庄平(日活)、美術は大映京都のベテラン 当し続ける西崎英雄、 重森孝子。 脚本は「俺たちの荒野」(監督

に結びつけたのである。船を追い続けて、初めて

を促して つけ火をつけて遊ぶのである。船べりを逃げる蟹を追った蟹の巣があった。喜一はその宝物である蟹にランプの油を なか、 時、信雄は喜一の母の姿を見た。いつけ火をつけて遊ぶのである。い しょげきった信雄を慰めようと喜 楽しみにしていた天神祭りがきた。 翌日、船の 泥の河に突き差した竹箒に 喜一は握りしめたお金を落としてしまうのである。 家は岸を離れた。 一は、 だが、その祭りのさ 船の家に誘

初めて生きることの悲しみを自らの 信雄は曳かれていく喜一 船は廓舟と呼ばれていた \mathcal{O}

3。その一人息子である信雄 (九歳)まだ焼跡の臭いを残す河っぷちで、

の子守唄」「曾根崎心中」

増村保造)

についで

こうで声だけがする姿の船の家には銀子(十一 ある。 煙る対岸にその日つながれた、 橋の上で鉄屑を盗もうとする少年、喜一に出会った。雨に ある雨の早朝、 い宿船の少年で

©小栗康平事務所

くこれまでの上映作品>全79作品(特別上映会6回、上映会中止2回を含む)

美しい夏キリシマ/パッチギ!/カーテンコール/二人日和/ゆれる/トリノ、24時からの恋人たち/長い散歩/天空の草原のナンサ/ イノセント・ボイス-12歳の戦場-/モーターサイクル・ダイアリーズ/恋するトマト/シッコ/歓喜の歌/赤い風船・白い馬/三本木農 業高校、馬術部/ラストゲーム~最後の早慶戦/マリア・カラスの真実/ディア・ドクター/扉をたたく人/縞模様のパジャマの少年/ 春との旅/小さな村の小さなダンサー/冬の小鳥/ホームカミング/ミツバチの羽音と地球の回転/デザートフラワー/ハーモニー心を つなぐ歌/ドーバーばばぁ織姫たちの挑戦/エンディングノート/旅芸人の記録/トガニ/月世界旅行・メリエスの素晴らしき映画魔 術/かぞくのくに/警察日記/名もなく貧しく美しく/よみがえりのレシピ/きっと、うまくいく/日本の悲劇/ペコロスの母に会いに行く/ 息子/ハンナ・アーレント/標的の村/救いたい/野のなななのか/ぼくたちの家族/NO(ノー)/春よこい/野火/手のひらを太陽に/ 袴田巖夢の間の世の中/父を探して/お盆の弟/祖谷物語-おくのひと-/東京ウィンドオーケストラ/ふるさと/どっこい!人間節 寿・自由労働者の街/孤獨の人/喜劇大風呂敷/神宮希林わたしの神様/寿ドヤ街生きる/寿ドヤ街生きる2/日曜日の子供たち, 1999年の夏休み/風のある道/アダムズ・アップル/十階のモスキート/約束名張毒ぶどう酒事件死刑囚の生涯/夢は夜ひらく/ 我が人生最悪の時/喜劇・いじわる大障害/喜劇女もつらいわ/木靴の樹/赤いハンカチ/裸の島/スモーク/みんなの学校

横浜キネマ倶楽部 第74回上映会

【横浜キネマ倶楽部】

所:〒221-0835 横浜市神奈川区鶴屋町 2-24-2 かながわ県民活動サポートセンターNo.269 横浜キネマ倶楽部 〈問合せ〉TEL 080-2554-8023(10~18 時)Eメール∶yokohama_kinemaclub@yahoo.co.jp HP アドレス https://ykc.jimdofree.com/